長崎市立三原小学校

～寄り合って，寄り添って，みんなで育て，みんなで育つ～

「笑顔いっぱい！真剣いっぱい！感動いっぱい！の三原っ子」

MIHARA TIMES

令和4年　2月15日発行　　文責　校長　宮原　友彦

今日は６年生への来客デーでした！　　三川中生徒会，後副会長を迎えて

本日は６年生への来客デーでした。まず１件目。三川中の入学説明会がコロナウイルス感染症対策のためできなかったために，生徒会が自主的に，６年生のために中学校行事を映像で届けてくれて，中学校生活のイメージを作るお手伝いをしてくれました。授業の邪魔にならないようにと，８時 15 分～30 分の時間に，代表２名が教室を訪ねてくれて，映像と簡単な説明を行ってくれたのですが，「自主的に」行ってくれたとのことに感銘を受けました。来年入る後輩のために，コロナ禍に負けないように，自分たちにできる形で貢献したいという気持ちをもてるのはすばらしいことだと思いました。本校の６年生が来年三川中に入ってこの先輩方の伝統を受け継いでいくのだと思うと，嬉しくなりました。

また，４校時の総合的な学習の時間では，キャリア教育【一人一人の社会的・職業的自立に向け，子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけ】が行われました。将来の夢・憧れや職業の選択など，子どもたちのこれからを考える教育活動としてクローズアップされてきた学習活動です。令和２年度からは「キャリアパスポート」を小１～高３の１２年間をとおして作成・活用するようになっています。今回，後副会長に来ていただいて，キャリアについて考える機会を設けました。私は常々，『人は人と出会うことで成長する』と思っています。後副会長の経験をとおして，自分のこれからを考えるよい機会になったと思います。

三原に吹く風

開花を待って校長室前にそっとおかれたヒヤシンス

赤門前の１年中絶えない花々

私が初めて三原小学校を訪れた昨年４月の印象は，「花いっぱいで，きれいな学校だなあ。」と感じました。みなさんはどうでしょう？本校がいつもきれいな花々で訪れた人を迎えることができるのは，ひとえに野副庁務員のおかげなのです。三原小が１年中きれいな花々で囲まれ，清潔さを保てるように，きちんと年間の計画を立てられ，季節の花々を育て，校庭の清掃を行い，三原っ子だけでなく，学校に訪れる保護者や地域の方々の目を楽しませてくださっています。いつも黙々と作業に取組まれる野副さんは，決してそのことをひけらかしませんが，そんな方が働く姿を見られる子どもたちは，幸せ者だと思います。これも後ろ姿を見て学ぶ１つのキャリア教育ですね。

宮原のつぶやき

古～い都々逸？（なんのことか知らない人がほとんどかもしれませんね(^-^;)で，「梅～は咲いたか，桜は～まだかいな」というメロディーを聞いたことがありますが，三原の赤門前の梅もこの寒風の中，見事に咲いています。立哨に立っているとき交通指導員の早田さんと，「今週は一段と気温が下がって，寒いらしいですよ。」と寒さのことを話題にすることも多いのですが，よく周りを見渡してみると，確かに春の足音は近付いてきているのですね。６年生の卒業まであと２２日，その頃には新型コロナウイルス感染症がピークアウトを迎え，暖かくなって，桜が咲き，春爛漫になってくれればと，切に願っています。